

經子史要覽

上



服部文庫
117
285
1



117
285
1

經子史要覽序
後進學者徒讀書已之則雖
終身讀書猶不讀無得於道
也其弊大氏有二端焉或
失之博雜或失之固陋夫

博雜而無擇，則不得要。
固陋而寡聞，則濶於物。夫
如此而欲求古之道，辟之
是猶伏而咥天，救徑而引
其足也。愈務而愈遠，末

世窮年，不免為陋儒而已。况
世代移易，物亡辭變，後
世學者，生於其變亡之後，
欲執令以御古，豈不難乎。
舉世滔々，迷惑莫能悟者。

幾百年矣我

大東古昔

皇朝之盛學子之所著唯古義

是主保平以還

皇綱解紐降及於室所氏之

末天下塗炭海內瓜裂矣

學子之道掃地矣

神祖創業戡定禍亂乃偃

武修文封建以治比隆之代

昇平百年瑞祥滋彰於

是予有祖徠先生者出焉實
負今世之才卓然獨唱後
古之業蓋地之相去也數千
餘里世之相後也二千許歲
而古聖人之道始明於

我

大東今日矣一時英俊滕東
壁縣次公太宰德夫胙子
遷平子彬之輩從而和之
志心真子之間善善濟之焉嗚

呼盛歎今，距其世不滿百年，
而吾黨先輩凋喪殆盡，
講徠家之學者甚希。雖
時運使然，何其衰廢至
於此。當今學者，非蹈陋習

覆轍，則竟好新奇，學無
統紀，不知所適從。舍明之大道，
而就昏之迷途，悲夫。經子史
要，臨見者，徂徠先生所授而
門人平子彬所筆，變也。

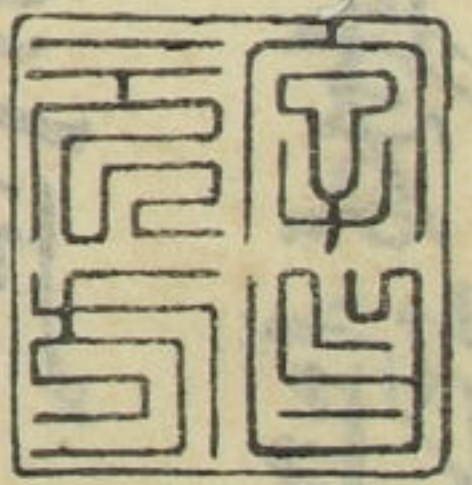
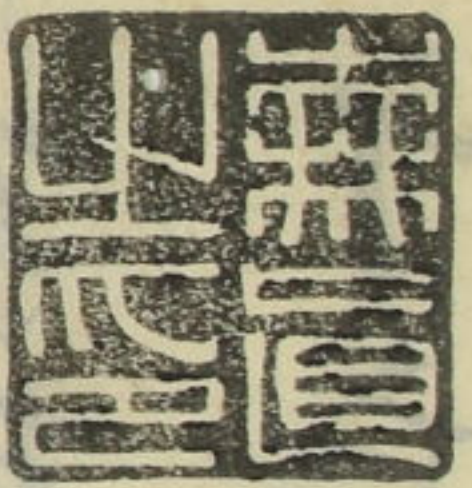
先生所論著、端徵學庸解、
 學則二辨、文集諸書、布
 於寰區、人之知之、但以其言散
 見諸處也、未易撮其要焉、
 此書則就各書一一提擲、

不令使人披卷、一目瞭然、皆
 得其旨趣、真讀書之要訣、
 哉、其東、後學也、深矣、此雖
 其緒之、言、豈不貴哉、而此書
 亦不多知之、惟吾黨之士、

或未續之、是可惜也、予已
 傷古學衰廢、又懼此書之
 久而終散失也、於是乎訂
 正訛誤、刻於家塾、以貽
 同好、後進、至徒、因出書以

知續者之方、庶幾有進
 於古之道焉、是予所望
 於來與子也、
 文化改元甲子春三月河
 陽本林直序于忘憂館

大梁原信書



經子史要覽總目

卷之上

經要覽

下總論

卷之毛詩

尚書

禮記

易

春秋

論語

孝經

卷之下

子要覽

總論

孟子

荀子

楊子

老子

莊子

列子

管子

晏子

史要覽

總論

左傳

國語

史記

漢書

附錄

徂徠先生書牘一首

本集逸之

總目終



經子史要覽卷之上

徂徠先生口授 門人

竹溪平義質子彬筆受
河陽森 直元方考訂

經要覽

總論

古ノ學問トハ先聖孔子ノ道ヲ學フヲ云フナリ。先王ノ道ハ六經ニ載セラレ傳ヘリ。六經ハ詩書禮樂ヲ説タルモノナレバ。古ノ學問ハ詩書禮樂ヲ學ブヨリ外ノ事ハナシ。

詩書禮樂ノ四ツヲ四教トハ云フナリ。或ハ四術トモ稱ス。左傳ニ。詩書者義之府也。禮樂者德之則也トアリ。テ凡此四ツノ教ハ行ノ本ナリ。徳モコレヨリ生シ。君子トナルコトナレ。學ハスシハアルヘカラサル者ナリ。後世ノ如ク注解ヲ穿鑿シ。字義ヲ議說スルヤウナルコトニテハナシ。宋ノ諸老先生ハ古ノ事ヲ知ラスシテ。今ノ世ノ學問ト同事ニラモフテ。學之爲言效也ト。朱子モ論シテ。只聖人ノ真似ラスルヲ學問ト心得タリ。笑フヘキコトラスヤ。且又大切ナル

要領タル六經ヲ打ステ。別ニ四書ト云モノヲ立テ。コレヲノミ誦記サセ。其業終レハ。又小學近思錄ナト云フヤウナ。無益ノ書ヲコシラヘテ。六經ヲ蔑ニシ。公然トシテ忌憚ルコトモナク。學問モ別ニ一流ナルコトヲ起シ。詩文ナトノ學ハ長物ト心得テ。詞章記誦ナト、云フラシ。玩物喪志トアルヲコダテニトリ。只執拗偏氣ノ事ノミヲ説キ。聖人ト云モノハ。只人欲盡テ天理ヲ全ク得玉ヘル人ナリト心得テ。聖人ニモ學シテナラズ。モノトヲモフハ

己カ臆^ラ説^セニテ。學者ノ風上ニモ置^ラヘキ者ニアラス。故ニ
四書五經ノ新注大全ナト。宋儒ノ著^キ撰^ルセル書ヲ看テ
ハ。却テ大ナル害トナルユヘ見サルヲ以テ可トス。予カ教
ヘ示ストコロハ。全ク臆^ラ斷^ルニアラス。學ヲ古ニ復^シテ。先
六經ヲ明ニセン^{コト}ヲス。ム。六經カ明ニラチガアカスハ。先
王孔子ノ道ヲ學フトハ云レサルナリ。孔子ノ時分ハ。詩ト書
トヨリ外ニ書物ハナシ。論語禮記孟子ナトニ引用ヒタル
モ。外ノ書トテハナク。只詩曰書曰トノミアルナリ。論語ニ。

不^レ學^ハ詩^ヲ無^ク以^テ言^フトアリ。又學^ハ詩^ヲ三百^ヲ使^シ四方^ニ不能^ク專^ニ對^ス
トアリ。詩經ハ人情ニ通達セシムルモノナリ。多^ク識^ル鳥獸草
木^ノ名^ヲトアルコトク。諸物諸事コレニ漏^レタルハ少^クシ。書ハ
先王ノ典法ナリ。サレトモコレハ皆古書ナレハ。古言多
クテ。古文辭トテ。古ノ文句ニテ。後世ノ文句トハ大ニ懸^カ
隔^ルセシユヘ。只一往ノ事ニテハ。中^ニモツテ辨^セラレス。先古
文辭ヲ知ラ子ハウカラヌナリ。其古文辭トテ。古書ヲ看
ルノ法例アレハ。コレハ文^ノ罪^ノ文考ナトニ辨^シ置^キタレハ。

今ハ論セス。只經書ヲ精覽スルノ要心ヲ示スノミナリ。
 經トハ經緯ノ經ト注シテ。布ノ縱縷ヲ經ト云。横ノ縷ヲ
 緯ト云。布ノ經ハ直通シテ本末ヲ貫ク者ナリ。六經モ
 ツノゴトク。天下ヲ治ル道ヲ示シ。天下ヲ治ルニハ六種ノ
 事アリテ。各其事ノ條理ヲ知ラスルニハ。經ト名ツケタル
 ナリ。六經ハ先聖王ノ天下ヲ治メ玉ヘル道ナリ。六經ト名
 ツクルトハ。禮記經解篇又莊子天下篇ニ略ソノ端ヲ示
 ハセリ。六經ヲ六藝トモ云ナリ。禮樂射御書數ヲ六藝ト

云トハ又別ナリ。學者混殺シテ。一ツニラモヘルハアヤマリ
 ナリ。史記ニ中國言六藝者。折中於夫子ト云。又夫儒
 者以六藝爲法ト云ルハ。皆六經ヲ云ナリ。史漢ノ中ニ
 六經ヲ六藝ト云ルトコロ多キナリ。鄭玄中庸ノ注ニ
 經ノ字ノ義ヲ明ニ辨セリ。經ハ大綱領ニテ。衆緯ヲ夾
 持スル義ヲ以テ名ツク。經禮三百。曲禮三千ト。禮記ニ
 イヘルモ。經禮トテ。ヲモナル禮ノ數カ三百餘アル。其經禮
 ニ。又各コトクシタル小節目アリ。タトハ升降趨走坐

立拜揖進退周旋動靜ノタクヒカ。三千餘條アル故ニ曲
禮三千ト云。曲ハ委曲ノ曲ナリ。中庸ニ為^{ラハル}天下國家有
九經ト云ヘルヲ。經ト見ルヘシコレ古文辭ノ同キ所ナリ。
天下國家ヲ治ルニ九ツノ大綱領アルト云フナリ。又漢
儒經ノ字ヲ常ト訓シ。聖人ノ經ハ萬古不易ノ常法ナリ
ト解スルハ是ナルコトハ是ナレトイマタ古ヲ知ラス。他書ニ徵^チ
スレハ。殊ニ通セス。孔穎達カ經者常也。言事有典法。可常^ニ
遵用也。傳者傳也。博釋經意。傳示後人。是也ト云。又張

華カ博物志ニ。聖人制作曰經。賢人著述曰傳トアルニ
基ツキ。宋ノ老儒專主張シテ。聖人ノ書ヲ經ト云ヒ。賢
人ノ書ヲ傳ト云ト説論スレト。コレ正義ニアラス。經傳ト
ワカツコトハ。文ノ體ヲ以テ名ツクルコトニテ。聖賢ノ作述
ヲ分辨スルコトニアラス。サレハコソ。易ノ十翼ハ孔子ノ作ナ
レト。文王周公ノ作り玉ヘル上下經ヲ釋シ玉ヘルユヘニコ
レヲ傳ト云。水經ハ漢ノ桑欽カ作ニテ。天下ノ水ノコトヲ
記シタルヲ水經ト名ツケ。九方臯カ相馬經。寧戚カ相

牛經師曠カ禽經神農ノ本草經山海經ナト皆聖人ノ
 作ニテハナケレ氏文體ヲ以テ經ト名ツケタリ後世ノ花
 經茶經棋經ナト云フモ皆コノ類ナリ是ヲ以テ見ルキ
 ハ朱子カ聖經賢傳ト云名目ヲ主張シ聖人ノ言ヲ何
 ニヨラス經ト云ヘルヲ鶻々突々トシテ非ナルヲ甚シ六經
 ハ六種ノ道ニテ其用同シカラス六經ハ道ナリ書籍ノ
 名ニハアラス六經カ一ツニテモ闕テハ天下ヲ治ルニ必不
 自由ナルヲアリタトヘハ人ノ家居ニテ器財ノ用足ラ

レハ其事行ヒカタキカ如シ故ニ六經ハ天下國家ヲ治ル
 六ツノ道具ナリト心得ヘキナリ朱子カ詩傳ノ序ニ六經
 ノ中何レニテモ一經ヲ治メ得レハ脩身治國平天下ニテ
 他經ヲ用ルニ及ハス一經ニテ事足ルト云ツノルヲ浮屠
 氏カ法華アルヒハ華嚴ナトラ一部ヲ主張シテ佛理コ
 レニ盡タリト云カコトシ佛法ハ佛法ニシテソレニテモヨカル
 ヘケレ氏聖人ノ道ハ然ラス六經ヲ通貫セサレハ其用足
 ラス仁齋ハ六經ヲステ用ヒス只論語ヲ宇宙最上ノ

書ト稱シ脩身ヨリ平天下ニ至ルマテ。論語ノ外ニ出ル
 ナシト云。コレ程子カ胡說ニ效顰スルトコロニシテ。聖學ノ本
 旨ヲ得サルモノナリ。冠履倒置ノヤカラ。論スルニ足ラサル
 僻說ナリ。漢代ニテハ六經ヲ學ヒ。國家ヲ治ル政事ニ用ヒ。
 上ニコレヲ行ヒ。下ニコレヲ教化セシメラル。コレヲ經術ト
 稱セリ。漢書ニ當用ニ於經術。明於大誼トノ玉ヒシ是ナリ
 後世經術明ナラス。漢ハ孔子ヲ去ル。未遠カラス。故ニ漢
 儒ノ經解ハ古訓ヲ失ハサルナリ。其事予別ニ論辨セリ。

今經書ノ要ヲ示シテ。以テ大旨ヲ知ラシムルナリ。讀者多
 意ヲ屬シテ。容易ノ看ヲナス。勿レト云。

毛詩

論語ニ學テ而時習之ト云ヘリ。コレ禮記ニ春誦夏絃秋
 學禮冬讀書トアリテ。詩書禮樂ノ四術ヲ學習スルナ
 リ。詩書禮樂ヲ學習シテ。其義ニ通達シ。其道ヲ行ヒ得
 レ。君子才德成就シテ。天下國家ノ用ニ立ツラ。學者ノ
 成立トスルサリ。其一ツハゴノ詩ナリ。詩ハウタヒモノニテ。簡

冊ニカキ記ス一テモナク童兒ノ時ヨリツノ師ニツキテ口
 ツカラ授カリテ歌ヒ習フナリ其詞ハスナハチ今アル詩經
 三百篇ノ詩ナリ古人ノ詩ヲ學フ今世ノ人ノ謠ヲ習フ
 如クナリ孟子ニ心之官則思ト云ヘリ人心ハ思フヲ官
 トスルユヘニ閑暇無事ノ時テモ何ナリト思フハアルモノナリ
 況ンマ物ニ感スルヲアレハ其事ニ隨テ或ハ喜ヒ或ハ怒リ或
 ハ哀ミ或ハ樂ミ或ハ愛シ或ハ惡ムト云フヤツナ情カ内ニ起
 レハ自然ト言ニアラハレ聲ニ發ス唯日本ノ和歌ト同シ

ニテサノミ脩己治人ノ道ヲ説キタル物ニテモナク治國平天
 下ノ法ヲ示スモノニモアラスタゞ古人ノ喜ヒニツケ哀ニニ
 ツケ輕キハ呻シギンシテ重キハ咨シ嗟サ咏ユ嘆タンス人ニ向テ告ケ語
 ルヘキヤウモナケレハ只其心ニ思フトコロヲ詞ニツリテト
 ナヘ出ス其言ノ中ニテ人情ニ叶ヒ言辭ノ善ク又其國ノ
 風俗ヲ知ラルヘキヲ聖人ノ集メ置キ人ニ教ヘ玉フニテ
 コレヲ脩己治人ノ爲ニセヨトニハ非ス凡人ノ心ニ喜怒哀
 樂ノ起ルハ皆心ノ不平ナリコノ不平ナル思フハ人ニ

對シテ曲折ニ述ツクサル者ニアラス。況ヤ人ヲ怨ルカ。又人
ヲ譏ルヤウナルコトハアラハニハ云難キモノナリ。然ルニ詩ニ如
何ナルコトヲモ言ツクシ。僅ノ詞ニテ人ヲツシルコトモ怨ルコトモ云ツク
サルハナリ。述懷ヲ言ヒハラスモノハ詩ナリ。故ニ動天地感鬼神
神トハ云ナリ。莊子ニ詩以道志ト云ヘルハコレナリ。詩ノ根
源ヲ尋ヌレハ虞舜ニ起レリ。舜群下ト天下ノ政事ヲ論議
シ玉ヒ。卒リニ股肱喜哉。元首起哉。百工熙哉ト歌ヒ玉ヒシ
カハ臯陶ト云臣コレニ答ヘテ。元首明哉。股肱良哉。庶事

康哉ト歌ヒシコト。書經ニ出タリ。コレ詩人ノ始祖ナリ。上古
ノ歌詩ハ書經ニノセタリ。詩經ハ多ク周ノ世ノ詩ニテ。殷ノ
世ノ詩モ少シ。雜レリ。四詩六義ト云コトアリ。四詩トハ。一曰
國風。二曰小雅。三曰大雅。四曰頌。コレナリ。六義トハ。一
曰風。二曰賦。三曰比。四曰興。五曰雅。六曰頌。コレラ六
義ト云。先四詩一ニ國風トアルハ。諸國民間ノ歌謠ナリ。今
ノ世ノハヤリ歌ノヤウナル者ナリ。又田間ノ麥ツキ歌。磨ヒ
キ歌。或ハ馭子ノ歌ナトノ類ナリ。コレラハ國々ノ風俗アリテ。

詞モ聲モ節^ノモ各別ナルユヘニ。總シテコレヲ國風ト云。日本ノ
 萬葉集ノ歌ノコトシ。中ニモ卿大夫ノ作モアリ。國君ノ夫人
 ノ作モアレ。氏國ノ風俗ニテ各別ナルユヘニ。一ツニ國風ニ編^テミ
 入タリ。其篇ノ中ニハ。男女夫婦ノ情モ云テアリ。親ヲ思
 ヒ子ヲ思フ^{コト}モアリ。又君ヲ恨ミ夫ヲ怨ム^{コト}モアリ。刺^ルル^{コト}モ
 美^ホム^ルコトモ云テアリ。貧士ノ仕宦ニ苦勞スル^{コト}モアリ。凡世
 間ニアルトアラユル^{コト}。貴賤。貧富善不。美惡皆云盡セリ。コ
 レニテ。世ノ風儀國ノ風俗モ心ニウツリ。吾心モ自^ラニ人情

ニユキワタリ。高位ヨリ賤シキ人ノ^{コト}モ知リ。男カ女ノ情ヲモ
 知リ。又賢^カキカ愚^カナル人ノ心ヲモ知ラル。益アリ。二ニ小雅^カ。
 三ニ大雅ト云。雅ハ一ツナリ。雅ハ正也ト註シテ。雅ノ篇ニ
 入タル詩ハ皆正詞ナリ。民間ヨリ出タルニハアラス。皆士大夫ノ
 作ナリ。天子諸侯ノ賓客^{ヒシ}ヲ宴^{エシ}スルニ。音律ニアハセテコレヲ歌
 ハシム。其事ニ大小アルユヘニ。雅詩ニモ大小アル^{コト}ナリ。四ニ頌^カ。
 トアル。頌ハ容也ト訓シテ。形容^{スル}祖宗^ノ德也トアリテ。先
 祖ノ德ノ形容ヲホメテ。鬼神ニ告ルナリ。天地社稷宗廟

ヲマツルトキノ樂歌ヲ云ナリ。頌ハホル意ナリ。頌モ皆士
 大夫ノ作ナリ。又六義ノ一ニ風ト云ヘルハ國風ノ一ナリ。賦
 ト云ハ目ニ見耳ニ聞ク一ヲ詠シ出ス。葛覃ノ章ニ葛之
 覃兮。施于中谷。トアルカ如キ躰ナリ。比ト云ハ何ナリトモ
 假リテコチラニ狀トリ作ル。其事ヲ云ニト思フテモ。サシ
 カニヒアリテ云ヌユヘ余ノ一ニ比ヘテ云。麟之趾ノ章ノ如キ
 ハ公子ノ賢德ヲ麒麟ニ比シテ作レリ。興ハ興起也トテ。
 其物ヲ見テ。北方ノ事ヲ思ヒ出スナリ。關雎。雎雎在河之

洲ヲ見テ。王者后妃ノ夫婦ノ德ヲ思ヒ出スコトキノ類
 ナリ。雅トハ大小雅ナリ。頌トハ三頌ナリ。皆詩經ニ出タリ。
 中ニモ風雅頌ハ體ナリ。賦比興ハ法ナリ。國風雅頌スヘ
 テ詩ノ數三百十一篇アリ。論語ニ詩三百ト云。其大
 數ヲ舉タルナリ。コノ三百篇ノ中ニハ天子ヨリ庶人ノ事
 マテ。内外公私アラユルヲ盡シテノコルナシ。萬事ノ情ヲ
 知ルモノナリ。諺ニ歌人ハ坐ナカラ名所ヲ知ルト云カコト
 シ。左傳ニ詩書者義之府也トアルハ天下ニアリトアラ

ユル人情義理ヲ納メタル府庫ト云フナリ。古人何ニテモ
人トモノ云テ義理ノ一ニ及ヘハ必詩ヲ引テ己カ云フトコ
ロノ義ヲ証明ス。タトヘハ大雅ニ。穆々文王於緝熙敬止
トアリ。毛萇カ傳ニ止ハ助字也トス。大學ニハ止ノ一字
ヲ証トス。斷章取義ト云テ。イカヤウニモ用ヒラル。一ナ
リ。自由自在ニ用ヒラル。ト云カ。詩ノ本旨アリ。サレハト
テ。其詩ヲ作ルニ。作者カアテモナキ。ハ漫然ト云シニア
ラサレ。凡詩ハ微言トテ。其サス所ヲハキツト人ニ知サスカ

本意ナリ。ソレヲ聞ク人カ。アレハ何ト云フヲ含蓄シテ居ル
ト云フヲ知ルハ真ノ詩ヲ解セル人トスル。一ナリ。日本ニテ
戀歌ヲヨムニ。只ハツトシテ。コレハ誰ヲ戀スル。凡斷ハラ
子。凡其和解ヲ知レル人。ハコレハ誰ヲ戀スル。ト知ルヤ。ウ
ナル。一ナリ。タトヘハ古歌ニ讀人不知トシテ。
ヨフニノミ見テヤヤミナン葛城ヤ高間ノ山ノ峯ノ
白雲ト云歌アリ。此歌ハ雲ヲ咏セシヤウニモアリ。又隱
者ノ窠所ヲ思フト解シ。又世ノ中ノ無常ヲ我人ノ心

經子史要覽 卷之七 十一

ツカサルヲヨミシ凡イロクト解セラルナリ。定家朝臣ハ
 新古今ノ卷頭ニ戀歌ニシテ入レ玉ヘリ。コレ看ルノ
 精シキナリ。イカントナレハコレハ及ハヌ戀ノ意ニテ。雲ニヨソ
 ヘテ。高間ノ山峯ニカ、リシ白雲。目ニ見ルノモニテ我手
 ニハ入ヌユヘヨソニノミ見テ。モウ思ヒ切テ休フト思ヘトウ
 モヤマラレヌ。心ニ思フハカリ。口ニモ云レヌト云フバ云ハシ
 タル歌ニテ。葛城モ高間モ雲モ皆假ソ物ニテ。彼ラ假テ
 我情ヲ述タルナリ。コノ歌ラ。隱者ノコトニ取ラウ凡。雲ラ

咏セシト凡イカマウ凡取義セラルナリ。詩モ亦コノ如クナリ。
 サレハソノ詩經ノ詩ヲカウクシタルコトニテ。斯フ云フト注ス
 ルハ皆僻見ナリ。孔子ノ詩ヲ説キ玉ヘルヤ。孟子ノ詩ヲ引タ
 ル。韓嬰カ外傳ナド。史子ニ引用セルニテサトスヘシ。宋儒
 ハ是非邪正ノ見ニカラメラレ。專ラ勸懲ノ爲ナリト云ヒイ
 ロクト理ヲ穿鑿スルハ。腹ヲカ、ヘテ笑フニ堪ヘタリ。朱
 子カ注ハ見サルヲ可トス。詩ハ常ニ誦記スレハ。イツトナク。
 其意モ領解スヘシ。注解ハイラヌナリ。文外ノ意ヲ推テ。

夕トハ、白雲トイヘハ、目ニハ見レト手ニトラヌ^{カツラ}。葛城ト
 イヘハ、岩橋ノ縁ノ事。高間トイヘハ、高フテ及ハヌ^トト見テ
 行ヘシ。詩經召南^ニ嘒彼小星三五在東。肅^ト宵征。夙夜
 在公。寔命不同^トアルハ、后妃ヲ以テ月ニタトヘ^{ニウ}衆妾ヲ
 星ニ比シテ、后ハ如月ニテ、日ニ配スルゴトク、ツ子ノ君王ト
 配偶アレ^{ハク}。衆妾ハ星ノ如ク、后ノマウニ常ニ配偶スル^ト
 ナラス。肅^トト宵征スルニ至テ、小星ノ東天ニアタルニタトヘ
 テ、福命ノ不同ナル^トヲ云タルタクヒナリ。此マウナル^トハ、

毛萇^{モウ}カ傳鄭玄^{テイ}カ箋世本古義說約ナトニテ見ルヘシ其
 他ノ註ハ皆僻說多シト知ヘシ

尚書

尚書トハ書經ノ事ナリ。尚ハ上也。上古ノ書ト云^トナリ。
 コレニ帝三王ノ典法ナリ。二帝ハ堯舜^{カヤ}三王ハ夏禹殷
 湯^{トク}周武ナリ。虞書ハ堯典舜典コレラニ典ト云。大禹臯
 陶^{ヤク}稷契^{シキ}伯益^{ヒキ}伯夷^{ヒキ}夔龍^{クイ}垂^{スイ}ノ臣アリ。皆聖賢ニテ、君臣ツ
 子ニ天下國家ノ道ヲ論シ、互ニ相戒メ、威徳ヲ天下ニ施^{ホドス}

シ行ヒ玉ヘルヲ記録シタルヲ三謨ト稱ス。商書十七
 篇ハ湯王桀ヲ伐天下ヲ取り玉ヒシ事ヨリ記シ始メ君
 臣ノ言行ヲ記セリ。周書三十二篇ハ武王紂ヲ誅シ天
 下ヲ取玉ヒシヨリ始マリ。周ノ代ノ君臣諸侯ノ正シ
 キ言行ヲ記録トシ。後ノ法則トセシム。書經ノ篇數總テ
 五十八篇。今現在セリ。古ハ百篇ナリシカ。缺失テ半ハ傳
 ラス。六體アリ。一曰典。二曰謨。三曰訓。四曰誥。五曰
 誓。六曰命。コレヲ六體ト云。一ニ典トハ典ハ法也トテ。

法則トシテ守ルヘキ書ナリ。二典是ナリ。二ニ謨トハ
 謀也トアリテ。群臣アツマリ。其正法ヲ論定シテ。方法ヲ
 處置シ玉ヘル書ト云フナリ。三謨コレナリ。三ニ訓トハ訓
 ハ教也。其アシキヲ戒シメ。ヨキヲ訓ユル書ニテ。伊訓ナ
 ノ類コレナリ。四ニ誥トハ告ト同シ。衆人ニ告ルト云フナリ。
 大誥湯誥ノ類ナリ。五ニ誓トハ誓ハ盟也。明也トテリ
 テ。誓約シテ信ヲ差ヘサルヲ誓ト云。コレハ軍旅ナドニ
 誓ヒシ書ナリ。甘誓湯誓ナドニテ考ヘ知ヘシ。六ニ命ト

ハ命ハ令也トテ俗ニ云イヒツケナリ。上古ハ王ノ言ヲ命ト云シナリ。字書ニ大曰命。小曰令。ト註セリ。帝王ヨリ臣ニ命シテ官人トシ。或ハ諸侯トナシ。玉ヲ命令ノ書ナリ。說命畢命ノ類ナリ。コノ六體ニテ文章ノ體皆同シカラ子氏。皆先王ノ法言ニテ。天下國家ノ軌範規則ナリ。書ニハ天下ノ正法ヲノセ。詩ハ天下ノ人情ヲツクス。詩書ハ義之府也ト云ヘリ。天下ノ義法詩書ノ二經ニ納マリテアリ。サレハコソ。古人事ヲ論

定スルニハ。必詩ニ曰ト詩ヲ引サレハ。書ニ曰ト書經ヲ引テ。我言ヲ徵ス。車ヲ横ニオサントスル程ノ無理ナル者ニテモ。先王ノ法言ヲ以テ証トスレハ。間ク者コレヲ破ルコトヲ得ス。古ハ書ト云モノハ書經ハカリニテ。外ニ書ト云モノハナシ。故ニ只書トハカリ云シヲ。漢ノ伏生ト云人ヨリ。尚書ト云。尚ハ上ナリ。尊稱ナリトテ。尊ヒテ尚書ト云。論語ニ何必讀書トアルモ。孟子ニ。盡信書不如無書トイヘルモ。皆書經ノコナリ。文義ヲワカツニハ。先孔安國ノ解ヲ可トス。

新注ハ宋ノ蔡沈サイシカ著作ニテ。タワイモナキモノ。初學ニハ
書經ホウソウ旁通通考ト云モノニテ見ルヘシ。譯ヲ附シテ解ス
レハ。甚ヨク分辨スルナリ。他注多シト云ヘ凡。皆無益為
害ノモノナリト知ヘシ。

禮記

禮ハ天下萬事ノ儀式也。コレヲ學フハ。今人ノ吉キ良ラ小笠
原ナトノ諸禮故實ヲ習フカゴトシ。書籍ジヤクヲ讀ニモ及ハス。
只其所作ヲ習フヲ以テ主トス。禮記ハ其諸禮ノ次第

書ナリ。秦漢以後ハ古ノ禮經ホロハヒテ。僅ワツカニノコルトコロ。儀
禮周禮禮記大戴禮ナリ。儀禮ハ古ノ禮經ノ殘篇ニテ。
經禮三百ノ數ノ中ナリ。周禮ハ周代ノ官職ヲ記ス。禮記
ト大戴禮トハ孔子ノトキ門人ト禮ヲ講シ玉ヘルヲ記錄
シテ傳ヘタルナリ。漢ノ世ニ及テ。戴氏ノ家ヨリ傳ヘシユヘ
ニ。戴記ト稱ス。コレヲノ禮書ヲ熟讀シテ。古禮ハコノマウナ者
ト知テ。今テノ世ノ俗禮ノ是非ヲ考ヘ人ニ高フラス謙退
シ。事ヲヒカヘメニ行ヒ。容儀ノジダラクナラサルヤウニ行ズシ。

經解篇ニ恭儉莊敬禮之教也トアルハ是ナリ孝經ニ安
 上治民莫善於禮トイヒ左傳ニ禮者經國家定社稷序
 民人利後嗣者也ト云リ禮ニ五禮アリ一曰吉禮ニ
 曰凶禮三曰賓禮四曰軍禮五曰嘉禮ナリ吉禮ハ祭
 祀ノ禮也凶禮ハ喪紀ノ禮也賓禮ハ賓客ノ禮也軍禮
 ハ軍旅ノ禮也嘉禮ハ冠禮トテ元服ノ禮婚禮トテ婦ヲ
 娶ル禮ナドヲ嘉禮ト云コノ外ニ古ハ鄉飲酒禮トテ鄉黨
 ノ人ニ酒ヲ飲シムル禮士相見禮トテ士ト大夫ト相見

スル禮アリ冠婚喪祭ノ四ツハ天子ヨリ庶人ニテアル禮
 ナリコレニ鄉飲酒士相見ノ二禮ヲ加ヘテ六禮ト稱スコレ
 ラハ經禮ト云テ三百餘條ノ定ル儀式アリ又各小
 節目カアリテ三千餘條ノ定ル條目アリテコレヲ曲
 禮ト云コトクク師ニツイテ習ハサレハ行フコトタス孔
 子ノ聖智スラ老子ニ問ヒ學ヒ玉ヘリ今テノ世ノ俗禮サヘ
 モ次第書ハカリテ見テ傳授ヲ受ケ子ハ其事ハ行ハ
 ス況ヤ先王ノ禮ハ學ハスニハ知ルヘカラスサレバ古禮ヲ

傳へ記ストイへ氏指訣カタへタレハ悉ク知へカラス只儀禮
周禮禮記ナトヲヨクク熟讀シ文ノ簡ニシテ辨シ難キハ
シハラク鄭玄カ注ニシタカヒ或ハ孔穎達カ疏ニ考へ左傳
管子孟子荀子論語家語ナトノ書ニ古禮ノ文雜見セリ
古書ニ考へテ領解スヘシ禮義ト連用シ禮義アルハ人ニ
魂ノアルカ如シ禮運ニ禮也者義之實也ト云へリ先王ノ
道ハ人ノ必スヘキト又スヘシキトヲ定メ置ルコレヲ
義ト云其辨ハタハシク予辨名ニ論シタレハ今ハ略ス唯

禮ハ人行ヒラ主トシテ教ユルモノナリ莊子ニ禮以道行
トアリ宋儒カ禮ヲ説クハ老女ノ小娘ヲシツケル如キト
ニテ瑣々碎々タルナリ禮ハ國之幹也ト左傳ニ出タ
リ國家ニ於テ肝要ナルハ禮也ト云フナリ禮記ノ新
注ニ禮ノ集注ハ寺子屋ノ師匠カ鼻タレ子ニ指授スル
如キトノミラ云テ古禮ノ旨ヲ得ス文ノ義解モ皆畔
岸セリ先鄭氏ニ從テ研精スヘシ禮樂トテ歌舞管
絃ノ藝ヲ樂ト云樂師ニ就テコレヲ學フコレモ書籍

ヲヨムニ及ハス譜ト云モノヲ書ツケテ傳授スル其書ヲ樂
 經トモ樂書ト云其書今ハヒヒテ傳ハラス唯禮記ノ中
 ニ樂記一篇ノコレリ惜ムヘシ樂律ノクハシキコト予別
 ニ樂制樂律ノ二書ヲ著編シ又樂語瑣言ニ論シタレハ
 今ハ略ス襟要ト考互スヘシ

易經

易ハ六十四卦三百八十四爻ニ文王周公ノ辞アリ易
 ヲ學フハ陰陽變化ノ道ヲ知シカ爲ナリ易ハ變易ノ

義ニテ往來變化ノ名ナリソモク天地開闢シテヨリ陰
 陽ノ二氣往來變化スルヲ暫モヤマス往來ハ晝夜寒暑ノ
 如キラ云變化ハ生成榮枯ノコトキ是ナリ又易ニ數アリ
 數トハ物ノ命數ナリ君子易ヲ學ヘハ命ヲ知り數ヲ知り
 時ヲ知ルユヘ惑フコトナシ著ヲトリ卦ヲ立テ筮スレハ事ノ
 吉凶見ヘテ疑ヲ決スルコト筮ヲステ更ニ他術ナシコ
 ヲ今日ノ瑣碎ナルコト用ヒタルハ心得チカヘルナリ天下國
 家ノ事ニ預リテ其用重シ君子コレヲ學ヘハ心ノ疑慮ノ

ゴキ清潔ニナリ。動轉スルマミテ静ニナリ。陰陽變化ノ理ニ達シタルニナル故ニ。禮記ニ。絜靜精微。易之教也ト云。繫辭傳ニ。聖人以此洗心トイヘリ。莊子ニ。易以道陰陽ト。皆易ノ至極ナル言ナリ。君子四術ヲ學ヒ成テ。易ヲ學フトキハ。陰陽變化ノ理ヲ知テ。事ニ惑ハス。故ニ六經ノ中ニ入レリ。上下經ハ。文王周公ノ辭ナリ。十傳ハ。孔子コレヲ述作シ玉マナリ。魏ノ王弼コレヲ注セリ。半ニシテ卒ス。韓康伯コレヲ嗣作セリ。易ノ諸注多シトイヘ。イマタ其旨ヲ得ス。

程カ易傳朱子ノ諸論ハ區々トシテ用ユルニ足ラス。

春秋

魯國ノ史官ノ記録ナリ。左傳ニ。國之大事。在祀與戎ト云テ。祭祀ト軍旅トヲ以テ。國家ノ大事トス。然レ。祭祀ハ常例ノ事ナリ。軍旅ハ非常ノ事ナリ。皆ソレクニ定法アリ。國家ノ事ハ。朝聘ヲ以テ大禮トス。朝聘トハ。朝ハ朝。覲トハ。今日本ノ諸侯。東都ニ參觀スルカコトシ。諸侯ノ天子ニ朝スルノミナラス。諸侯ト諸侯ト相見スルヲモ朝ト云。聘トハ。諸

侯ヨリ使^{ツカ}ラ天子ニツカハシ。又諸侯ニツカハスラ聘ト云。卿ヲ
 マルラ大聘ト云。大夫ヲマルラ小聘ト云。ソノ朝聘ハ時節一
 同ナラサレド。四時ノ中ニテ。春秋ヲ時トシテ行フニ節。春秋
 ト云。故ニ國史ヲ春秋ト名ツク。漢書藝文志ニ假^ツ日月以^テ
 定^メ曆數。藉^ツ朝聘以^テ正^ス禮樂ト云ヘリ。古ハ諸侯ノ國ニハ
 イツレモ各春秋アリ。其事國語ノ申^シ叔時カ言ニ見ヘタリ。
 今六經中ノ春秋ハ魯ノ春秋ナリ。孔子ハ魯人ニテ。我本
 國^ノ春秋ヲ修^シ造^シシテ。世ニ傳ヘ玉ヘルニ。他ノ春秋ハ傳

ハ^ニ魯ノ春秋ノ後世ニ存セリ。禮記ニ屬^ク辭^ト比^シ事^トハ春
 秋ノ教也トアリ。屬^ク辭^トハ辭ヲツケル。朝聘ノトキニ辭令
 ヲ善クカクコナリ。辭令ハ今ノ世ニ云口^{コウ}狀^{ジヤウ}ナリ。比^シ事^トハ決
 スルニソミ。先例ヲ引テトリサハクコナリ。コレヲ六經ニ入
 ル。ハ國政ノ善惡。天地ノ災變。君臣行事ノ得失。國家ノ
 治乱ヲ皆明^クトカキ記シアリテ實録ナルニ。大疑ヲ
 決シ。大謀ヲ立ルニ。鏡トナルヘキ者ナレハナリ。其委^シキコハ
 史要覽ニ辯スルカ如シ。古來ノ學者。一字ノ褒^{ホウ}貶^{ヘン}ト云フ

ニ拘ハリ泥ミテイロクト穿鑿妄解ス必信スヘカラス。
 宋ノ胡安國カ傳注ハ妄說殊ニ甚シク齒及ニタラスト
 知ルヘシ唯左氏傳ヲ熟讀シテ二百四十二年ノ事實
 ヲ考ヘ領解スヘシ宋儒ノ如キ一字ノ褒貶ヲ要トシテ
 春秋ヲ説クトキハ君卿大夫士過半有罪人ト云ナ
 ス笑フヘキコトナリ故ニ宋儒カ六經ノ解ハ皆謬妄ト
 知ルシ仁齋ナトモ宋儒ヲコホテ凡六經ヲ打ステ用
 ヒ又五へ孔門ヲ大罪人ト云ヘシ。

論語

論語ハ孔子ノ緒言ヲアツメシ書ナリ緒言トテ一篇ヲ爲
 シ六經ノ中ヘアミイレ難キ短キ言トモラ一ツニ集撰シ
 テ此書ヲナスナリ論ハ論定ノ義トテ吟味スルコトナリ唐
 虞ヨリ三代及ヒ春秋ノ時ニ至ルテ人物ノ善惡ナト混
 殺シテ適從スルコトナキニ孔子ノ只一言ニヨリテ天下後
 世ノ人モ其喙ヲ置クコトナシ皆孔子ノ言ヲ以テ斷決スルユ
 へ論定トハ云ナリ語ハ愆シテ人ノ教ニモナルヘキ言ヲハ

語ト云ナリ。此書ハ孔子ノ門人ニ對ヘ玉フ緒言ヤ。又國君大夫ニ答ヘ玉ヒシ言。孔門ノ賢弟子ノ語ナト。其外教トナル語ヲエラヒ出シテ。一書トナスヲナリ。上篇ハ學而ヨリ鄉黨マテ。琴子張ノ撰ナリ。下篇ハ先進ヨリ堯曰マテ。原子思ノ撰トス。其事クハシク徵ニ出セリ。邢疏論者。綸也。輪也。理也。次也。撰也。以此書可以經綸世務。故曰綸也。圓轉無窮。故曰輪也。蘊含萬理。故曰理也。篇章有序。故曰次也。群賢集定。故曰撰也。又劉勰云。昔仲尼微言。門人

追記。故仰其經目。稱為論語。蓋群論立名。始於茲矣。コレヲノ諸說皆其旨ヲ得タルニ似タリ。然レモ左傳ノ段落ニハ必君子曰ヲ以テ斷決ストイヘモ。猶モウタカシク分辨シカタキ時ニハ亦皆孔子ノ言ヲ以テ斷語トナスヲ見レハ。論定之義トイヘル說ヲ可トスルニ非スマ。學者論語ニ云フ所ノ言語ヲ以テ。六經中ニイヘル言ニ引アテテ。此彼ヲ徵映シテ見ルトキハ。注解ヲ待スシテ。其本旨ヲ領得スヘシ。論語ノ注家ハ古今紛々ニシテ。區

吹^{フク}トシテ一定ナラス。前漢ヨリノ古説ハ魏ノ何晏^{アノ}編輯^シ
 シテ集解ヲ作レリ。學者ノ先覽スヘキ所ナリ。皇侃^{クワン}疏^モ九
 讀スニハアルヘカラス。邢昺^{ケイ}カ疏^モ畧^{ホク}一覽スヘシ。唯朱子カ
 新注仁齋^{サイ}カ古義ナトハ謬^{ビウ}妄^{モウ}ノ解^{カイ}半^{ナカ}ニスギテ却^{カク}テ累^{ライ}
 トナル所多^{オホク}。予^{オノ}徴^{チウ}ヲ著^{シテ}コレヲ詳論セリ。聖人ノ道
 ハ仁ヨリ肝^{カン}要^{ヨウ}ナルハナシ。仁ヲ慈^ジ悲^ヒト心得ルモノ多シ。慈
 悲ニサマクアリ。惻隱^{ソクイン}之心。仁之端也。ト孟子ニ云ヒシハ
 子細^{シヨウ}アルナリ。仁ハ民ノ父母トナルナリ。孔子モ吾道

一以貫^{イツクワン}之^ヲ仰^{オウ}ラレシナリ。何事モ皆仁ヲ以テ通貫^{ツウクワン}スル
 ナリ。宋儒ハ其仁ヲ打ステ。別ニ理ノ一字ヲ拈^{ニギ}出^デシ。佛
 法ヲ陰竊^{インセツ}シテサマクノ妄説^{オウセツ}ヲ吐^{ハク}ク。憎^{ニウ}ムヘキノ甚^{シキ}キ
 ナリ。故ニ新注ハ見サルヲ以テ可トス。論語ノ作者ハ古ヨリ
 イロクト論議シテ定マラス。漢ノ鄭玄ハ仲弓子游子夏
 ノ撰定スル所ト云。唐ノ柳子厚ハ有子曾子ノ二門ノ手ニ
 成ルト云ヒ。宋ノ二程子ハコレニ從テ説ヲナス。有子曾
 子ノ二子ノミ。子ヲ以テ尊稱スト云テ証^{シヤウ}トス。然^{シカ}レモ論語

中ニ関子冉子ト稱セテ存アレハ一概ニモ証ニナラス又
 禮記ノ注疏鄭君目錄ヲ見ルニ曾子ヲ以テ姓名トス一
 ノ名ハ子又一ノ名ハ參トアリ曾子ヲ姓名トイヘル説
 アリテ曾子問ナト、名目スルトキハ的當ノ説ニアラス予
 上論ニ牢曰ト云下論ニ憲問アルヲ以テ考ルトキハ上論
 ノ文ハ簡ニシテ奇ナリ下論ノ文ハ詳ニシテ實ナリ彼此
 相考ルトキハ上論琴張ノ手ニ成リ下論ハ原憲ノ手ニ
 成リシト昭然タリ其明証十例アリ別ニ論ス琴張ハ

琴ハ姓名ハ牢字ハ子開氏子張氏云衛人ナリ原憲字ハ子
 思宋人ナリ犬戴禮ニ原憲ハ宋人孔子卒後退隱于
 衛トアリ上下ノ論ニ二子ノ性行ニ其文ヨク相似タリ
 故ニ予斷シテシカイフナリ

孝經

孝經ハ曾子門人ノ手ニ成ルト云ツタフ孝ハ百行ノ本ト
 イヘハ尤行ハスハアルヘカラス宋學ノ徒孝經ヲ廢シテ用
 ヒスコレ偽書ナリト號ス或ハ錯簡ナリト云テ今文

孝經ニ從テ朱子ハ刊誤ヲ作リテ妄リニ古經ヲ刊刪ス。懼ルヘキノ甚シキナリ。孝悌爲仁之本與トイヒ。又孝徳ヲ稱シテ至徳トイヒ。孟子モ堯舜之道孝悌己矣トイフ。天子ヨリ庶人ニ至ルニテ各行スニハアルヘカラスナリ。古文孝經ハ孔安國ノ傳スルトコロナリ。或曰孔カ傳繁ニシテ其言書傳ト異ナリ。故ニコレ後人ノ僞作スルトコロト云。予案スルニ身體髮膚受之父母ト云以下ヲ五刑ヲ以テ注スルトコロ。又道者扶持萬物使各終其性命者也ト云

ナドハ善ク古聖人ノ旨ヲ得タリ。故ニ予ハコレヲ孔カ所作トス。其他孝經諸注アリ。吳注ナトハ其說奇ナルアリ。玄宗皇帝ノ御注アリ。邢昺コレニヨツテ疏ヲ作ル。皆一覽ノウヘニコレテ古書ニ証シ。是非得失ヲ知ルヘシスヘテ經傳ヲヨムニ訓詁ヲ恃ムヘカラス。白文ヲ以思謀スヘシ。注ヲタノミニスルモノ重聞スヘニ其本ニ得スタンクニカハリ違テ。後ニ其本ヲ失ヒ果スルナリ。千歲逝キ。日月モウツリ来レハ。何モカモ古トハ大ニチカヒ俗ウツリ物カハリヒテ

注モタノミニハナラヌナリ。唯古言ノ未カハラヌ頃ノ書ヲ
 熟讀シ其辭ノ古ナルヲ手本ニシテ古言ヲ見ルヘシ管子
 晏子春秋老子莊子列子ナトハ道ハ大ニチカヘ氏其道
 ニカヘハス道ハ道辭ハ辭トシテ見ルヘシ皆古文ニテ古
 言ナリ古文ノ言ハ命言トハ大ニ違ヘリ古人ノ辭ノツ
 カヒヤウ置キヤウニテモ後世トハ大ニ相カレリ故ヨリ
 古書ニ熟シヨ後世ノ書ヲ見ス自誓^{チカッ}テ宋儒ナトノ註
 疏ヲ見ス秦漢以上十三家ノ書ニ習ヒ打カヘシテ

反覆丁寧ニ書ヲ熟セハ自然^{ハシ}トシレニ習ヒ其文ノ辭氣皆
 古文ニナリオセハ古人之心知ルヘシコレヲ千歳^{チンボ}旦暮^{タンボ}千
 里比肩ト云ナリ其内注解ヲ見子ハナラヌトアラハ漢
 儒ノ詁訓ヲヨシトス漢儒ノ注ハ多ク七十子ノ師授口傳
 ニ得テ後世ノ宋儒ナトノ及フ所ニアラス

此他ニ經書アリトイヘ氏先コノ六經孝經論語ヲ先トス
 今ノ學者六經ノ義ヲ知ラス古ヨリ此六部ノ書籍アリシ

ト謂フハ謬ナリ。六經ヲ書籍トシテ傳フルハ孔子ヨリ
 以後ノイナリ。六經ノ中ニテ書籍ト云モノハ書經ト春秋ト
 ノ一經ナリ。詩ハウタヒモノナレハ歌ツテ覺ルモノ。易ハ六十
 四卦ノ象數ヲ知テ覺ユルモノ。禮樂ノ二ツハ其式ヲ習フノ
 ミナリ。故ニ六經ハ道ノ名ニテ六藝トモ云ナリ。六經ハ物
 ナリ。論語ハ義ナリ。六經アルハ論語アリ。六經ヲ廢スレハ
 論語ハブラリトシタル議論ノ空言トナル。仁齋ハ六經ヲ
 論語ノ下ニ置キ。論語一部ヲ至極最上ノ書トシコレ劍

術ヲ習ハスシテ勝負ノ理ヲ謀ルカゴトシ何ヲ其本旨ヲ得
 ンヤ。學問ノ道ハ聖人ヲ信スルカ第一義ナリ。聖人ノ知ハ大ニ
 仁ハ至レリ。タノウヘ思慮モ深遠ナリ。故ニ上古ニ立テテキ
 玉ヘル法術ハ千萬世後マテモ叶ハサルナシ。後儒コレヲ知
 ラス。聖人ヲ信スルヲ淺クシテ。別ニ居敬窮理良智ト
 イロクノ名目ヲ立テ。疴瘠ヲ生スルヲ悲シカラスヤ。剩サヘ
 六經ヲ信スルヲウスク。子思孟子ヲ尊フ。孔子ヨリモ
 甚シ。故ニ其所見臆說牽強古ニ支離スルヲ多シ唯ク

古書ニ爛熟シテ古人ト徒タルヘシ然レモ學問ヲスルニ
 天命ヲ知ラサレハ君子トハナラレス不知命無以為君
 子トモ云又天命之謂性ト云テ人各其生レ得ルトコロ
 別ナレハ其成ル徳モソレクニカハルコナリタトハ菓實ノ
 如シ最初花落テ實ヲムスフトキ其數ハ幾千萬ト云フ
 コラ知ラス月日ヲフル内ニ其實熟スルヲ待スシテ落ル
 モノ過半ナリ熟スルトキニ及テ樹上ニトナル者僅ニ
 十カ一二ナリ造物ノ所為トイハレ其物定メレル命アリ

又陶工ノ器ヲ作ルニ數千ノ内ニ一タ燒又内ニ破ルハ
 リ燒テノチ破ルアリ其成就セル中ニ又良キアリ惡
 キアリソレヨリ人ノ用ニ立テ幾ホトモナク破レ失ヘルアリ
 イツクニテモ久ク用テ存スルアリコレハ人ノ手ニテ作
 ルモノニテ造物ノナス所ニアラ子凡又其命數アリ孔門ノ
 諸弟子モ各其生レツキノ自然ニ得ルノ近キトコロヲ得
 テ或ハ言語ニハ宰我子貢文學ニハ子游子夏ト云ヤウ
 ニ手ニヘクノ得手アリコレ其性ノ近キ所ナリ豈孔

子ノ教マウカ足ヌト云テハナイ。大ニ生スヘキモノハ大ニ生シ。小サク生スヘキ者ハ小ニ生ス。時雨ノ惠ニヨルトイヘル。實ハソレクノ命ナリ。左傳ニ子産カ人心之不同如其面トイヒ。孟子ハ物之不齊物之情也トイヘリ。君子ハコノ命ヲ知ルユヘニ其性ノ及ハヌトコロバムリニハセヌナリ。故ニ宋儒カ人皆可為聖人ト云ハ非ナリ。其善クスル所其大ナル小ナルハ人ノ性異ニシテ一マウナラス。其中得タル性ハ易ルヲアタハス。故ニ宋儒カ變化氣質トイヘルハ非ナリ。

唯天ノ命スル所ニヨリ。其器ヲ成就シ材能ヲ達シテ。天職ニ代リテ務ルハ古ノ道ナリ。故ニ邊國田舎ニ生レテ良キ師マ學友モナク。偏屈ナルモ命ナリ。又良キ師良キ學友ヲ得テ。其道ヲ聞キ達秀スルモ命ナリ。家貧ク書籍ヲ得ルヲ難ク。學問ノテキカヌルモ命ナリ。予學則一篇ヲ著シコレヲ詳論セリ。易ノ象傳ニ消息盈虛與時偕行トイヘルハ。消ノ時ナレハ。消ノ時ト覺悟シテ憂フルコトナク。息ノ時ニアタレハ。息ノ日久シカラスシテ又消スト思フ

テ^{キヤウ}恐懼ヲ忘^シレスソレクノ時ニ隨^{ハス}テ易^キ道ヲ行^フナリ然
 ルトキハ自^ラ天佑^シ之^ヲトアリテ神ノ助^ケ通^{スル}アルベジ^コレ經
 傳^ヲ精覽^{スル}ノ肝^カ要^{ヨウ}ナルモノナリ。

經子史要覽卷之上 終

